



Cisco Aironet Lightning Arrestor (AIR-ACC245LA-N) の取り付け手順

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意
(www.cisco.com/jp/go/safety_warning/) をご確認ください。

本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動 / 変更されている場合がありますことをご了承ください。

あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルでは、避雷器キットの詳細と、避雷器の取り付け手順について説明します。

概要

過電圧の過渡電流は、雷による静電放電、スイッチ プロセス、電線との直接接触、または地電流を介して生成される可能性があります。Cisco Aironet AIR-ACC245LA-N Lightning Arrestor は、憂慮すべき干渉電圧の振幅と持続期間を制限し、インラインの装置、システム、およびコンポーネントの過電圧抵抗を向上させます。これらの取り付け手順に従って避雷器を取り付けると、電位が調整されるため、保護されるシステム内で並列信号線への誘導障害が回避されます。

Cisco Aironet AIR-ACC245LA-N Lightning Arrestor は Cisco Aironet アクセス ポイントとブリッジで使用するために設計されていますが、N コネクタを使用する Cisco Aironet 無線デバイスで使用できません。



警告



警告

雷雨時に避雷器の取り付けまたは検査を行う場合は、インライン装置の接続を解除するか、スイッチをオフにしてください。



警告

避雷器を接続するときには、それに続く装置や部品の接続が解除されているか、電源がオフになっていることを確認します。



警告

「危険」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。機器の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止対策に留意してください。



警告

雷が発生しているときには、システムに手を加えたり、ケーブルの接続や取り外しを行ったりしないでください。

インストールの考慮事項

アース接続とボンディング接続を適切に行うことは、最も重要なことです。避雷器をアース接続する場合は、次の点を考慮してください。

- 接地点に避雷器コンポーネントを直接接続します。
- アース接続の接点は清潔で、埃や湿気がない状態である必要があります。
- マニュアルで指定されているトルクまで、ネジ付きの接合部を締めます。

インストール上の注意事項

この避雷器は、屋外アンテナに接続されたアンテナ ケーブルと Cisco Aironet 無線デバイスの間に取り付けるように設計されています。避雷器は屋内にも屋外にも設置できます。また、外部 N コネクタを持つ無線デバイスに直接接続できます。また、インラインでも、フィードスルー モジュールとしても取り付けられます。フィードスルーとして取り付ける場合、避雷器を収納するため、5/8 インチ (16 mm) の穴が必要です。図 1 を参照してください。



(注)

この避雷器は避雷器キットの一部です。キットには、避雷器、アース ラグ、およびこの説明書が含まれています。



(注)

避雷器を取り付けるときは、地域の避雷器取り付けに適用される規制またはベスト プラクティスに従ってください。

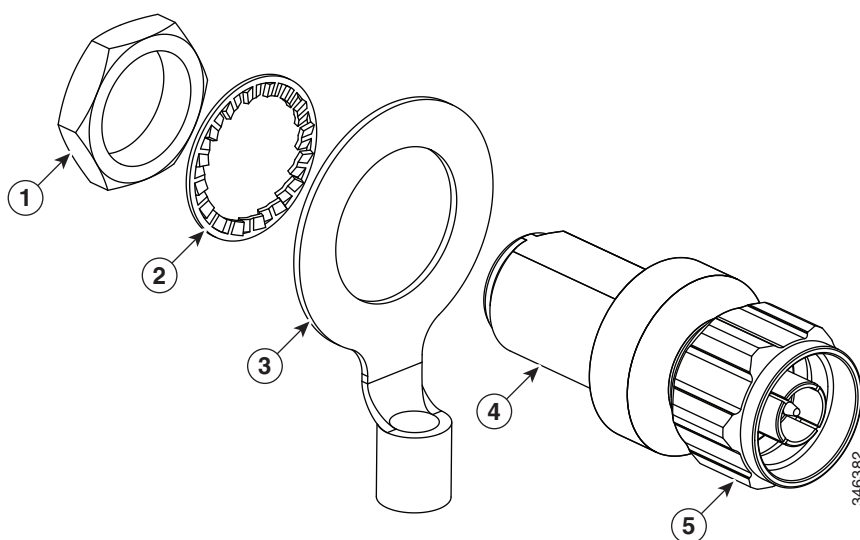
避雷器の屋外設置

避雷器を屋外に設置する場合は、付属のアース ラグおよび頑丈なワイヤ（#6 硬銅線）を使用して、適切なアース接続が可能なアース棒などに接続します。接続をできるだけ短くする必要があります。

避雷器の屋内設置

避雷器を屋内に設置する場合は、構造用鋼材や電気パネルのアース端子など、アース接続に適した場所の近くにワイヤレス LAN デバイスを配置します。避雷器を頑丈なワイヤ（#6 銅線）を使用して接地し、構造用鋼材や電気パネル上の適切な接地点にアース線を接続します。接続をできるだけ短くする必要があります。

図 1 避雷器の詳細



1	ナット	4	保護されていない側（アンテナを接続）
2	ロックワッシャ	5	保護された側（無線デバイスを接続）
3	アース ラグ		

推奨ケーブル

同軸ケーブルでは、周波数が高くなると効率が失われるため、信号損失につながります。信号損失の量はケーブル長によっても決まるため（ケーブルが長いほど、損失が増える）、ケーブルはできるだけ短くする必要があります。

シスコは、避雷器での使用を目的とした高品質で低損失なケーブルを推奨します。

技術仕様

メインパスコネクタ	保護されていない側：N（メス） 保護されている側：N（オス）
インピーダンス	50 オーム
周波数範囲	0 ～ 6000 MHz
リターンロス	15 dB 以上
挿入損失	0.3 dB 以下
RF CW 電源	50 W 以下
サージ電流処理能力	10 シングル/5 マルチ kA（テストおよび 8/20 μ s）
残余パルスエネルギー	250 μ J（公称） （テストパルス 4 kV 1.2/50 μ s、2 kA 8/20 μ s）
重量	3.6 オンス（0.1 kg）（組み立て図を 図 1 に示します）
動作時の温度範囲	-40 °F ～ 185 °F（-40 °C ～ 85 °C）

©2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0809R)

この資料の記載内容は2008年10月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先:シスコ コンタクトセンター

0120-092-255(フリーコール、携帯・PHS含む)

電話受付時間: 平日 10:00~12:00、13:00~17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>